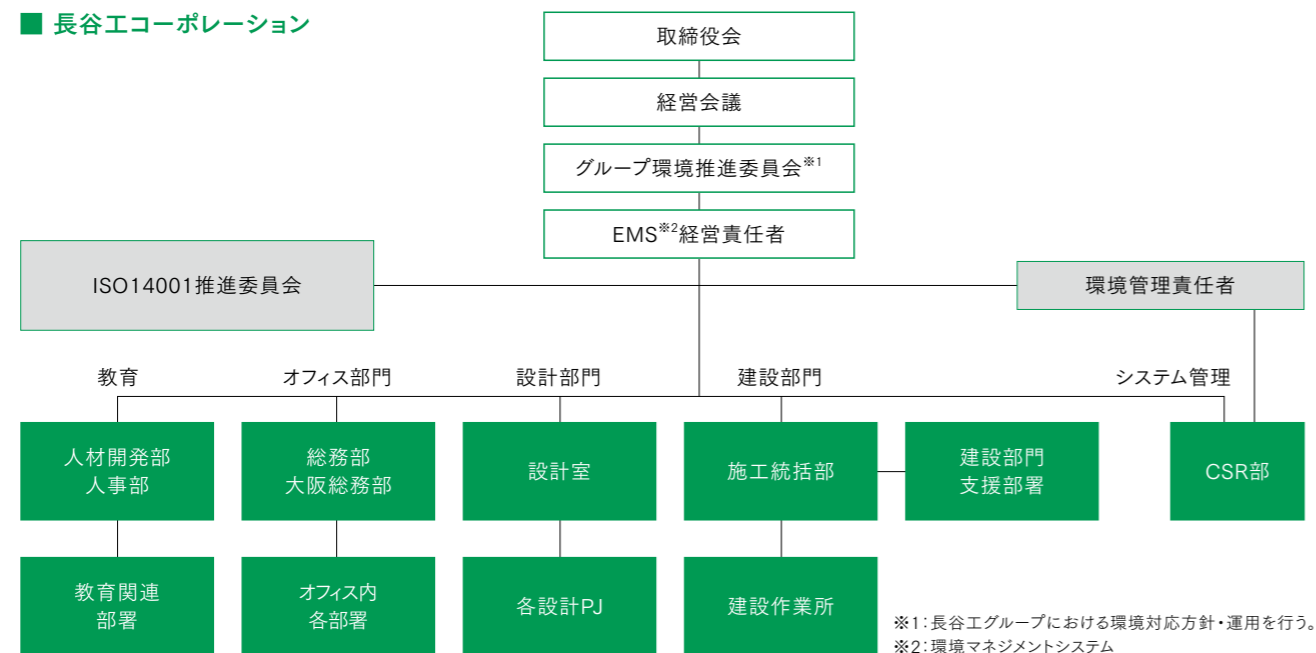


環境マネジメントシステム

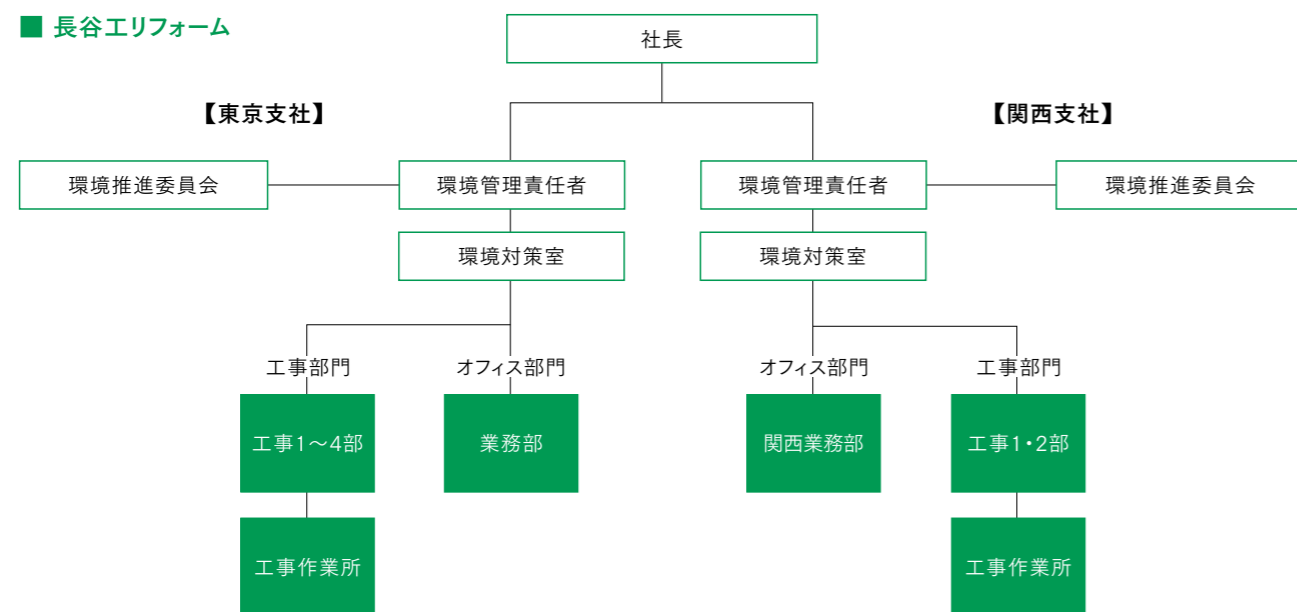
環境活動を推進・展開していくために、それぞれの部門で環境目標・目標値を掲げ、着実に取り組んでいます。

環境マネジメントシステム推進体制

■ 長谷エコーポレーション



■ 長谷エリフォーム



長谷エコーポレーション 環境方針

当社は、企業理念である「都市と人間の最適な生活環境を創造し、社会に貢献する」に基づいて、以下を環境方針として掲げ、よりよい地球環境の保全並びに改善を目指して活動します。

1. 環境保全活動を推進していくための環境マネジメントシステムを確立、運用、継続的な改善及び汚染の予防を図り、資源の有効活用、地球温暖化の防止並びに生物多様性の保全を推進します。
2. 環境に関する法規、協定などを順守するとともに、必要に応じ自主基準を策定し実行します。
3. 事業活動の環境影響を評価し、技術的・経済的に可能な範囲で環境目標を設定し、定期的にレビューを行います。
4. 環境保全活動を推進するために、以下の項目に注力し取り組みます。
 (1) 建設廃棄物の削減とリサイクル及び周辺環境に配慮した施工
 (2) 環境に配慮した設計の提案
 (3) オフィス業務では、省エネルギー、資源の有効活用、グリーン購入の推進
5. 当社全従業員及び当社で従事する全ての人々に対して環境方針の周知を図ると共に、協力会社にも本方針の周知と協力を要請します。
6. 環境方針は公開します。

※長谷エリフォームにおいても、環境方針を掲げ、よりよい地球環境の保全並びに改善を目指して活動しています。

環境マネジメントシステムの状況

ISO14001 認証取得の経緯

当社では、2001年7月に関西地区、10月に東京地区でISO14001 環境マネジメントシステムの認証を取得しました。2013年10月に環境マネジメントシステムを東西地区統合し、運用しています。

長谷エリフォームでは、2014年3月にISO14001 環境マネジメントシステムの認証を取得しました（東京・関西支社）。2018年4月に2015年版への移行及びISO9001品質マネジメントシステムとの統合を行い、運用しています。今後も環境管理活動を継続して展開していきます。

取り組み

環境保全活動を進めるにあたり、環境方針を策定、各部門は環境方針を受け環境目標・目標値を定め推進しています。

継続的な改善

環境マネジメントシステムが規格要求事項を含め当社の取り決めに適合しているか、また適切に実施され維持されているかを内部監査及び外部審査によりチェックし、その結果を踏まえ、見直しを行い継続的な改善を図っています。

2017年度の外部審査受審日及び指摘件数は以下の通りです。

	登録日 更新日	外部審査受審日	外部審査 指摘件数
長谷エコーポレーション	2001.10.1 2016.10.1	2017.7.25・26	なし
長谷エリフォーム	2014.3.13 2018.4.19	2018.2.26～3.2	なし

環境法規制の順守状況

2017年11月に長谷エコーポレーションの新築作業所にて、杭工事で発生した土砂・汚泥の排出及び処理について、大阪府環境農林水産部より「廃棄物の処理及び清掃に関する法律第19条」に基づく是正指導を受けました。

当社は、現存の「杭工事汚泥管理マニュアル」に基づく汚泥の管理について、当社社員及び協力会社に対して再教育を実施し、同様の事態を起こさないよう徹底していきます。

マテリアルフロー

2017年度の当社の事業活動に関わる資源・エネルギーの投入量と、CO₂・廃棄物などの排出量を定量的にまとめたものを以下に示します。

2017年度環境目標・目標値と結果及び2018年度計画

2017年度環境目標・目標値と結果及び2018年度計画は以下の通りです。

2017年度環境目標・目標値と結果

評価判例 ○:目標達成 △:ほぼ目標達成 ×:目標未達成

部門	環境目標		目標値	東京地区		関西地区	
				結果	評価	結果	評価
設計部門	環境配慮設計の提案	環境配慮チェックシートの活用	採用件数÷提案件数 ≥ 95%	98.0% (73件)	○	97.8% (28件)	○
	地球温暖化の防止	新CO ₂ 排出量算定プログラムの活用	CO ₂ 削減率10%以上 (H28年建築物省エネ法基準・建物全体)	11.1% (72件)	○	11.2% (28件)	○
施工部門	建設廃棄物の削減 【混合廃棄物排出量(2011年度比)を2020年度までに25%削減】	建設廃棄物の削減	混合廃棄物 8kg/m ² 以下	5.9kg/m ² (64件)	○	3.7kg/m ² (26件)	○
		混合廃棄物のリサイクル化	リサイクル率 73%	80.17% (64件)	○	78.83% (26件)	○
	地球温暖化の防止 【CO ₂ 発生原単位(13.8t-CO ₂ /億円)を2020年度までに7%削減】	CO ₂ 排出量の削減	発生原単位 13.1t-CO ₂ /億円以下	11.09 t-CO ₂ /億円 (64件)	○	10.59 t-CO ₂ /億円 (26件)	○
オフィス部門	省エネルギーの推進 【2019年度まで2011年度実績値以下とする】	電力使用量の削減	2011年度実績値以下	- 5.7%	○	- 16.1%	○
	資源有効利用	コピー用紙使用量の削減 《未達拠点の周知徹底》	コピー・プリンター 2UP以上比率 3.1%	4.9%	○	3.6%	○
		コピー・プリンター両面比率 30%	38.4%	○	31.4%	○	
	文房具グリーン購入の推進 《未達拠点の周知徹底》	購入率 90%	93.0%	○	93.6%	○	

2018年度計画

部門	環境目標		目標値
設計部門	環境配慮設計の提案	環境配慮チェックシートの活用	採用件数÷提案件数 ≥ 95%
	地球温暖化の防止	新CO ₂ 排出量算定プログラムの活用	CO ₂ 削減率10%以上 (H28年建築物省エネ法基準・建物全体)
施工部門	建設廃棄物の削減 【混合廃棄物排出量(2011年度比)を2020年度までに25%削減】	建設廃棄物の削減	混合廃棄物 7kg/m ² 以下
		混合廃棄物のリサイクル化	リサイクル率 75%
	地球温暖化の防止 【CO ₂ 発生原単位(13.8t-CO ₂ /億円)を2020年度までに7%削減】	CO ₂ 排出量の削減	発生原単位 12.9t-CO ₂ /億円以下
オフィス部門	省エネルギーの推進 【2019年度まで2011年度実績値以下とする】	電力使用量の削減	2011年度実績値以下
	資源有効利用	コピー用紙使用量の削減 《未達拠点の周知徹底》	コピー・プリンター 2UP以上比率 3.1%
		コピー・プリンター両面比率 30%	30%
	文房具グリーン購入の推進 《未達拠点の周知徹底》	購入率 90%	

